

年間授業計画 新様式例

八王子東 高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 地理公民 科目 地理総合

教科： 地理公民 科目： 地理総合

単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：（ 2 組・3 組・5 組・8 組：大伴一成 ） （ 1 組・4 組・6 組・7 組：木内明彦 ）

使用教科書：（ 地理総合 世界に学び地域へつなぐ（二宮書店） 、 新詳高等地図（帝国書院） ）

教科 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】

現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的、多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらに基づき議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的、多角的な考察や深い理解を通して調査される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 地理総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
知識・地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防衛、地域や地域の課題への関心を生活する。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互作用や作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的、多角的に考察したり、地理的、多角的な考察や深い理解を通して調査される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで養われる課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的、多角的な考察や深い理解を通して調査される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、他国の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	1 地球上の世界 ・地球上の位置情報の基礎として、緯度としての地緯、経度・経度の基本的なしくみ、地球上での位置の読み方を理解する。 ・経度の読みかたや経度の概念を捉え、日常生活における時計調整の技能を身に付け、経度として成立立つ世界認識をもつ。	イントロダクション 緯度・経度 時差	【知識・技能】 地球上での位置、緯度高度の変化、緯度経度のしくみ、時差の計算について理解できたか。 【思考・判断・表現】 経度としての地球の観点から、図を活用して地球上の位置や時差のしくみを捉え、説明できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 経度としての地球の地図に向け意欲的に探究し、作業や考察に取り組もうとしている。	○	○	○	4
	2 日本の位置と領域 ・図法によって異なる世界地図の特色を捉え、スケール、視座、図法などを変化させながら、世界における日本の位置を理解する。 ・グローバルな立場から日本の領域を理解するために、国境や国家の領域が世界的な基準を捉えながら、日本が抱える周辺諸国間との領有権の問題や海洋資源の利用について考える。	正角図・正距方位図・正積図 国家とその領域 日本の領域に関する問題	【知識・技能】 世界地図の主な図法と利用について理解できたか。 国家の領域に関する知識を身に付け、日本の領土問題について歴史的背景と空間的広がり理解できたか。 【思考・判断・表現】 世界地図を国境の観点により見分けことができたか。 日本の位置と領域について世界的視野から捉え、日本の領域をめぐる問題を考察できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な世界地図の違いに関心をもち、資料などから様々な世界地図の存在を知ろうとしている。 日本と領域に関する問題について、意欲的に探究し、海洋資源の問題とともに考えようとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	3 国内や国際間の結びつき ・グローバル化が進む世界において、国際間の協同や不均衡を理解するために、世界の発展を捉えるための道具としての統計地図やグラフのつくり方を理解する。 ・交通・通信、貿易・物流、観光の観点から、人やもの、情報、資本・サービスの移動の様子について、統計地図やグラフなどの資料から読み取る技能を身に付ける。 ・グローバルな視点から持続可能な社会の形成のために、資料を根拠として示しながら課題解決のための方を多面的・多角的に考える。	国際間の結びつき 主題図・グラフの見方 交通・通信 貿易・物流 観光	【知識・技能】 人・モノ・情報の結びつきに関する知識を身につけたか。 統計資料から分布や変化などの特徴を見出す技能を身につけたか。 【思考・判断・表現】 主題に対して適切な統計地図を作成できたか。 【思考・判断・表現】 世界の統計地図を結びつけ、世界の結びつきや偏りについて考察したことを説明できたか。 地図で示す主題によって統計地図の表現方法が異なることを考察できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 統計資料を意欲的に読み取り、それを表現しようとしている。 統計地図の作成に意欲的に取り組もうとしている。	○	○	○	7
2 学期	4 暮らしのなかの地図とGIS ・身近な地図を集め、それらの地図の特徴を捉え、地図情報の有用性を理解する。 ・地図情報を活用する方法として、紙地図と電子地図としてのGISがあることを理解し、紙地図と電子地図を通して認識する。 ・GISが日常生活にも利用されている実例を捉え、大量の地理情報を処理できるGISの特徴や利用方法、そのしくみについて理解する。 ・GISで作成した地図を組み合わせ、地域の特徴を分析する方法と技能を身に付ける。	地形図 地理院地図 GIS	【知識・技能】 GISの特徴や利用方法、そのしくみについて理解し、GISで作成した地図を重ね合わせ、地域の特徴を分析する方法を身につけたか。 地理院地図やひなたGISなどインターネット上のGISの機能を利用し、地理空間情報を活用できたか。 【思考・判断・表現】 身近な地図について、目的により表現方法の違いがあることが判断できたか。 紙の地図と電子地図の用途や活用について、地図の有用性の観点からそれぞれの長所を考察できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 身の回りの地図に興味を持ち、意欲的に地図の知識を活用しようとしている。 GISの作業に意欲的に取り組み、GISで作成した地図から地域の特徴を分析しようとしている。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
	5 地形と生活文化 ・世界の大地形の広がりやプレートテクトニクスにもとづくプレート境界と関連し、変動帯に位置する場所では山地や高原を形成し、地質あるいは地形によって火山を伴うことを理解する。 ・河川、海岸などの外的営力による地形の形成とその広がり、およびそれらの地形を形成した人々の生活と地形を取り巻く環境の変化について、写真や地形図などの資料を通して考える。	変動帯とプレート 安定地塊 河川がつくる地形 褶曲地 断崖地・自然堤防の地形図判読 三角洲 波・沿岸沿による地形 離水海岸・沈水海岸 サンゴ礁・環境問題	【知識・技能】 地形についての知識を身につけ、世界的視野から地形の分布の特徴を捉えることができたか。 地形図から等高線や地形記号などを判読し、地形の特徴や土地利用を捉えることができたか。 【思考・判断・表現】 世界の地形をプレートテクトニクスと関連づけ、世界の地形配置と比較しながら考察できたか。 生活している地域の地形の特徴について、写真、地形図などから捉え、人間生活との関連を考察できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 地形図や分布図、写真、模式図の読み取りに意欲的に取り組もうとしている。 地形図を用いた作業に意欲的に取り組み、地形と人間生活とのつながりを捉えようとしている。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
	6 気候と生活文化 ・世界的な視野から大気や海洋が循環するしくみを捉え、地球上ではそれらの影響を反映した気候の地域性が生まれていることを理解する。 ・熱帯気候と気候の特性をふまえて、世界の気候をケッペンの気候区分から捉え、誕生や農業などの人々の生活文化に多様な影響を与えていることを理解する。 ・熱帯、乾気候、温帯、亜寒帯、寒帯の各気候は人々の生活文化とどのような関わりをもつのか、どのような生活の工夫があるのか、写真や雨量図などの資料から考える。	気候要素と気候因子 大気大循環 セキスーン（日本を除く） 気候区分・ハイサーグラフ 熱帯（自然環境＋農業＋諸問題） 乾気帯（自然環境＋農業＋諸問題） 温帯（自然環境＋農業＋諸問題） 冷帯・寒帯（自然環境＋農業＋諸問題） 高山気候	【知識・技能】 大気の大循環と海洋に起因した大気のしくみを理解できたか。 各気候の分布の特徴を理解できたか。 雨量図や写真から情報を抽出し、各気候と植生の対応や、それらが関与した人々の生活の特徴を読み取り、整理できたか。 【思考・判断・表現】 世界の気候の大気のしくみが人間生活に影響していることを資料をもとに考察できたか。 気候の分布の規則性を気候区分をもとに考察できたか。 気候などの資料をもとに、各気候により農業が異なることを捉え、農業や生活への影響を考察できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 雨量図や写真の判読を通して、世界各地の気候や生活文化の対応について意欲的に探究しようとしている。 雨量図やハイサーグラフなどの気候資料の作成に意欲的に取り組もうとしている。	○	○	○	12
3 学期	7 日本の自然災害と防災 ・日本列島の地形と気候の特徴を主題図、グラフ、写真などの資料をもとに、多面的や自らの意思から捉えることを認識しながら、自然災害を捉える要素があることを理解する。 ・日本各地では毎年のように様々な自然災害が起きていることを理解するため、風水害、火山、地震・津波、都市部での災害の具体的な事例について、新旧の地形図、ハザードマップ、気象情報、電子地図などを利用する技能とともに捉える。 ・自然災害はどのような自然環境と関連しているのか、それに対する備えはどのようなものか、居住地域での防災、減災意識の向上につなげる。	日本の地形 日本の気候 ハザードマッププレゼン 風水害と防災 火山の噴火と防災 地震・津波と防災 1年間のまとめ	【知識・技能】 日本の自然環境の特徴と生活文化との関わりを理解できたか。 日本列島における自然災害について自らの事例を通じて、災害のしくみや特徴、地域性、防災への取り組みや課題を理解できたか。 地形図やハザードマップを活用し、防災と避難行動について考察する技能を身につけることができたか。 【思考・判断・表現】 日本の自然環境と生活との関わりを主題図や写真から考察できたか。 日本の自然環境の特徴を認識した自然災害が発生してきたことを資料から読み取り、それをふまえて自然災害時の対策を考察できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 自らの生活圏の防災について、資料から適切に判断し、課題と避難行動を認識できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 自然環境の特徴と自然災害とのつながりを意欲的に探究しようとしている。 GISなどを活用し、自然災害への対策を意欲的に探究しようとしている。 災害発生時の自助・共助・公助をふまえ、身近な地域で発生が予測される場面を想定して、意欲的に対策を検討しようとしている。	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1
							合計
							70

八王子東 高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 地歴公民 科目 歴史総合

教科： 地歴公民 科目： 歴史総合

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 8 組

教科担当者： （2組・4組・5組・7組：島津 聡 ） （1組・3組：梶原崇史 ） （6組・8組：野口慧）

使用教科書： （ 山川出版社『現代の歴史総合 みる・よみとく・考える』 ）

教科 地歴公民

の目標：

【知識及び技能】

現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を導き通して達成される日本国民としての自覚、我が国の歴史や文化に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 歴史総合

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
知識・近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とそのなかの日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する。 技能：諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して達成される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 歴史の扉・近代化への問い 【知識及び技能】身近な諸事象が、日本や日本周辺の地域および世界の歴史とつながっていることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】「旅」を題材に近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化と関わらせて考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】身近な題材に対して自ら「問い」を立て、歴史との関連を追究する。	歴史の学び方 問いの立て方 資料の活用	【知識及び技能】身近な諸事象が、日本や日本周辺の地域および世界の歴史とつながっていることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】「旅」を題材に近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化と関わらせて考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】身近な題材に対して自ら「問い」を立て、歴史との関連を追究しようとしている。	○	○	○	5
	B 単元 1 つ結びつく世界と日本の開国 【知識及び技能】諸資料からアジア域内貿易の状況と、貿易を通じての欧米諸国との経済的つながりを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】18世紀の日本と世界の結びつきに着目して、日本がどのような形で世界と結びついていたのかを考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】・18世紀の中国や日本と世界の結びつきが、その後の時代にとどのように変容するかなどの視点を持ち、その後の学習につなげる。	結びつく世界と日本の開国	【知識及び技能】諸資料からアジア域内貿易の状況と、貿易を通じての欧米諸国との経済的つながりを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】18世紀の日本と世界の結びつきに着目して、日本がどのような形で世界と結びついていたのかを考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】・18世紀の中国や日本と世界の結びつきが、その後の時代にとどのように変容するかなどの視点を持ち、その後の学習につなげようとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	C 単元 国民国家と明治維新 【知識及び技能】市民革命の展開を世界と日本とを相互に関わらせながら理解する。 【思考力、判断力、表現力等】諸資料をもとに市民革命による変化や日本の明治維新について共通点や相違点を考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】主題に対して問いを設定し、適切に追究する。	国民国家と明治維新	【知識及び技能】市民革命の展開や産業革命の影響を世界と日本を関わらせながら理解している。 【思考力、判断力、表現力等】諸資料をもとに市民革命による変化や日本の明治維新について共通点や相違点を考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】主題に対して問いを設定し、適切に追究している。	○	○	○	12
	D 単元 近代化と現代的な諸課題 【知識及び技能】様々な資料を活用して現代的な諸課題の形成に関わる近代化の歴史について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】学習内容と関連させ「開発・保全」「対立・協調」「自由・制限」について考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】学習した内容や獲得した概念をもとに問いを追究する。	近代化と現代的な諸課題 問いの追究	D 単元 【知識及び技能】様々な資料を活用して現代的な諸課題の形成に関わる近代化の歴史について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】学習内容と関連させ「開発・保全」「対立・協調」「自由・制限」について考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】学習した内容や獲得した概念をもとに問いを追究している。	○	○	○	3
	定期考査			○	○		1
2 学 期	E 単元 総力戦と社会運動 【知識及び技能】様々な資料を活用して第1次世界大戦の展開や影響、大衆化が進化したことやその影響を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】第1次世界大戦前後の社会や国際秩序の変化について諸資料を活用して考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】大衆化や総力戦に関連させて問いを表現し、追究する。	総力戦と社会運動 国際秩序の変化や大衆化に対する問い	【知識及び技能】様々な資料を活用して第1次世界大戦の展開や影響、大衆化が進化したことやその影響を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】第1次世界大戦前後の社会や国際秩序の変化について諸資料を活用して考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】大衆化や総力戦に関連させて問いを表現し、追究している。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
	F 単元 経済危機と第二次世界大戦 【知識及び技能】様々な資料を活用して第二次世界大戦前後の社会の変化や、戦後社会への影響を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】全体主義の台頭や、その帰結について諸資料を活用して考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】第二次世界大戦前後の社会の変容関連させて問いを表現し、追究する。	経済危機と第二次世界大戦	【知識及び技能】様々な資料を活用して第二次世界大戦前後の社会の変化や、戦後社会への影響を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】全体主義の台頭や、その帰結について諸資料を活用して考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】第二次世界大戦前後の社会の変容関連させて問いを表現し、追究している。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
3 学 期	G 単元 冷戦と世界経済 【知識及び技能】諸資料を比較検討して、冷戦体制や高度成長の成り立ちや課題を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】表面化した冷戦が国際社会にどのような形で影響を与え、進展したのかについて考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】冷戦体制やその中で日本の社会の変容について、現代的な課題と関連させながら追究する。	冷戦と世界経済	【知識及び技能】諸資料を比較検討して、冷戦体制や高度成長の成り立ちや課題を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】表面化した冷戦が国際社会にどのような形で影響を与え、進展したのかについて考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】冷戦体制やその中で日本の社会の変容について、現代的な課題と関連させながら追究している。	○	○	○	8
	H 単元 世界秩序の変容と日本 【知識及び技能】石油危機や冷戦体制の崩壊、どの後の国際社会の課題を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】石油危機や冷戦の終結が国際社会にどのような形で影響を与えたか、考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】グローバル化の影響について、現代的な課題と関連させながら追究する。	世界秩序の変容と日本	【知識及び技能】石油危機や冷戦体制の崩壊、どの後の国際社会の課題を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】石油危機や冷戦の終結が国際社会にどのような形で影響を与えたか、考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】グローバル化の影響について、現代的な課題と関連させながら追究している。	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
							合計
							70

八王子市立 高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 地理歴史 科目 世界史探究

教科： 地理歴史 科目： 世界史探究

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 8 組

教科担当者： （1組・3組・6組）：住司憲史 （2組・4組・5組・7組・8組8組）：近江屋篤志

使用教科書： （東京書籍『世界史探究』）

教科 地理歴史 の目標：

- 【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身に付けられるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して洞察される日本国史としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 世界史探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
知識：各地域の文化的特色や多様性、諸事件の展開についての正確な知識を身に付け、現代的な課題の起源との関わりを理解する。技能：諸資料から様々な情報を正確かつ的確に読み取り、諸課題の解決に資する。	世界史に関わる事象の因果関係、歴史的意義を正確な史料批判を踏まえて行うことが出来る。またそれを的確に論理的に叙述し、説明することが出来る。	過去の歴史を学ぶことによって、現代の世界の成り立ちを理解し、文化的な多様性に理解ある人間性を身につける。歴史緒の考察を踏まえた上で、現代の諸課題に積極的に取り組み自ら歴史に参加する姿勢を目指す。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 【知識及び技能】世界へのまなざし 古代文明 【思考力、判断力、表現力等】自然環境と生活・文化との関連性 【学びに向かう力、人間性等】文化の多様性について理解を深める。	・指導事項 先史 古代文明 ・教材 教科書・資料集・プリント・スライド・地図 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】各地域の文化的特色や多様性、諸事件の展開についての正確な知識を身に付け、現代的な課題の起源との関わりを理解している。諸資料から様々な情報を正確かつ的確に読み取り、諸課題の解決に資している。【思考・判断・表現】世界史に関わる事象の因果関係、歴史的意義を正確な史料批判を踏まえて行うことが出来る。またそれを的確に論理的に叙述し、説明することが出来る。	○	○	○	5
	B 単元 【知識及び技能】諸地域の歴史的特質への問い 【思考力、判断力、表現力等】自然環境と生活・文化との関連性 【学びに向かう力、人間性等】文化の多様性について理解を深める。	・指導事項 諸地域の歴史的特質への問い ・教材 教科書・資料集・プリント・スライド・地図 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】各地域の文化的特色や多様性、諸事件の展開についての正確な知識を身に付け、現代的な課題の起源との関わりを理解している。諸資料から様々な情報を正確かつ的確に読み取り、諸課題の解決に資している。【思考・判断・表現】世界史に関わる事象の因果関係、歴史的意義を正確な史料批判を踏まえて行うことが出来る。またそれを的確に論理的に叙述し、説明することが出来る。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	C 単元 【知識及び技能】アジア、中央ユーラシア、アフリカ、 【思考力、判断力、表現力等】自然環境と生活・文化との関連性 【学びに向かう力、人間性等】文化の多様性について理解を深める。	・指導事項 アジア、中央ユーラシア、アフリカ等 ・教材 教科書・資料集・プリント・スライド・地図 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】各地域の文化的特色や多様性、諸事件の展開についての正確な知識を身に付け、現代的な課題の起源との関わりを理解している。諸資料から様々な情報を正確かつ的確に読み取り、諸課題の解決に資している。【思考・判断・表現】世界史に関わる事象の因果関係、歴史的意義を正確な史料批判を踏まえて行うことが出来る。またそれを的確に論理的に叙述し、説明することが出来る。	○	○	○	8
	D 単元 【知識及び技能】諸地域の交流と再編への問い 【思考力、判断力、表現力等】自然環境と生活・文化との関連性 【学びに向かう力、人間性等】文化の多様性について理解を深める。	・指導事項 諸地域の交流と再編への問い ・教材 教科書・資料集・プリント・スライド・地図 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】各地域の文化的特色や多様性、諸事件の展開についての正確な知識を身に付け、現代的な課題の起源との関わりを理解している。諸資料から様々な情報を正確かつ的確に読み取り、諸課題の解決に資している。【思考・判断・表現】世界史に関わる事象の因果関係、歴史的意義を正確な史料批判を踏まえて行うことが出来る。またそれを的確に論理的に叙述し、説明することが出来る。	○	○	○	7
2 学 期	定期考査			○	○		1
	E 単元 【知識及び技能】地球規模での交易の拡大 【思考力、判断力、表現力等】自然環境と生活・文化との関連性 【学びに向かう力、人間性等】文化の多様性について理解を深める。	・指導事項 地球規模での交易の拡大 ・教材 教科書・資料集・プリント・スライド・地図 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】各地域の文化的特色や多様性、諸事件の展開についての正確な知識を身に付け、現代的な課題の起源との関わりを理解している。諸資料から様々な情報を正確かつ的確に読み取り、諸課題の解決に資している。【思考・判断・表現】世界史に関わる事象の因果関係、歴史的意義を正確な史料批判を踏まえて行うことが出来る。またそれを的確に論理的に叙述し、説明することが出来る。				15
	F 単元 【知識及び技能】一体化していく世界 【思考力、判断力、表現力等】自然環境と生活・文化との関連性 【学びに向かう力、人間性等】文化の多様性について理解を深める。	・指導事項 一体化していく世界 ・教材 教科書・資料集・プリント・映像・スライド ・一人1台端末の活用	【知識・技能】各地域の文化的特色や多様性、諸事件の展開についての正確な知識を身に付け、現代的な課題の起源との関わりを理解している。諸資料から様々な情報を正確かつ的確に読み取り、諸課題の解決に資している。【思考・判断・表現】世界史に関わる事象の因果関係、歴史的意義を正確な史料批判を踏まえて行うことが出来る。またそれを的確に論理的に叙述し、説明することが出来る。				12
3 学 期	G 単元 【知識及び技能】グローバル化と地球的課題 【思考力、判断力、表現力等】自然環境と生活・文化との関連性 【学びに向かう力、人間性等】文化の多様性について理解を深める。	・指導事項 グローバル化と地球的課題 ・教材 教科書・資料集・プリント・映像・スライド ・一人1台端末の活用	【知識・技能】各地域の文化的特色や多様性、諸事件の展開についての正確な知識を身に付け、現代的な課題の起源との関わりを理解している。諸資料から様々な情報を正確かつ的確に読み取り、諸課題の解決に資している。【思考・判断・表現】世界史に関わる事象の因果関係、歴史的意義を正確な史料批判を踏まえて行うことが出来る。またそれを的確に論理的に叙述し、説明することが出来る。				8
	H 単元 【知識及び技能】世界の変容と新たな地球的課題と世界史 【思考力、判断力、表現力等】自然環境と生活・文化との関連性 【学びに向かう力、人間性等】文化の多様性について理解を深める。	・指導事項 世界の変容と新たな地球的課題と世界史 ・教材 教科書・資料集・プリント・映像・スライド ・一人1台端末の活用	【知識・技能】各地域の文化的特色や多様性、諸事件の展開についての正確な知識を身に付け、現代的な課題の起源との関わりを理解している。諸資料から様々な情報を正確かつ的確に読み取り、諸課題の解決に資している。【思考・判断・表現】世界史に関わる事象の因果関係、歴史的意義を正確な史料批判を踏まえて行うことが出来る。またそれを的確に論理的に叙述し、説明することが出来る。				8
						合計	73

八王子東 高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 公民 科目 公共

教科： 公民 科目： 公共 単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：（ 1・2・3・4・6組：安久津 ）（ 5・7・8組 山倉 ）

使用教科書：（ 東京書籍「公共」 ）

教科 公民 の目標：

【知識及び技能】	選択・判断の手掛かりとなる概念や理論及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりする力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養い、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される。人間としての在り方生き方についての自覚や、国民主権を担う公民として、平和と繁栄を図ることの大切さについての自覚などを深め、主権者としてのシティズンシップを養う。

科目 公共 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手がかりとなる概念とともに、諸資料から、倫理的主体、主権者として活動するために必要な情報を、適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手がかりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される。現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、主権者としてのシティズンシップを養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 公共的な空間をつくる私たち ―社会のなかの自己 1) 青年期の特徴と自己形成の課題について、多面的・多角的に考察し理解する。 2) 人間のあり方について、社会を構成する存在として、主体的に考察し理解する。	◎指導事項 ・青年期と自己形成 ・社会的な存在としての人間 ◎教材 教科書、資料集、プリント、ワーク 各自端末	【知識・技能】 様々な資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 【思考・判断・表現】 青年期の特徴と自己形成の課題、社会的な存在としての人間のあり方について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 青年期の特徴と自己形成の課題、社会的な存在としての人間のあり方について、自分自身の課題としても捉え、主体的に追究している。	○	○	○	6
	B 公共的な空間における人間としての在り方生き方―共に生きるための倫理 1) 功利主義や義務論などの考え方を活用して、生命倫理や環境倫理について多面的・多角的に考察し理解する。 2) 人間としての在り方・生き方について先哲の思想を基に考察し理解する。	◎指導事項 ・功利主義 ・義務論 ・現代の倫理的課題（生命倫理・環境倫理） ・先哲の思想 ◎教材 教科書、資料集、プリント、ワーク 各自端末	【知識・技能】 様々な資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 【思考・判断・表現】 現代の諸課題について判断し選択する際の手がかりとなる功利主義や義務論などの考え方を活用して、生命倫理や環境倫理について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 功利主義や義務論などの考え方を活用して、現代の諸課題について主体的に追究している。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
	C 公共的な空間における基本原理 ―私たちの民主的な社会 1) 民主主義、法の支配と立憲主義などの意義とそれらを実現するうえでの課題について、多面的・多角的に考察し、理解する。 2) 日本国憲法の基本原理について理解する。	◎指導事項 ・民主主義の原理 ・法の支配 ・立憲主義 ・日本国憲法の原理 ◎教科書、資料集、プリント、ワーク 各自端末	【知識・技能】 様々な資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 【思考・判断・表現】 公共的な空間における基本的原理である民主主義、法の支配と立憲主義などの意義とそれらを実現する上での課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 公共的な空間における基本的原理である、民主主義、法の支配と立憲主義などの意義とそれらを実現する上での課題について、主体的に追究している。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
2 学 期	D 民主政治と私たち 1) 地方自治や国の統治機構について、現実の課題と対照しながら、多面的・多角的に考察し理解する。 2) 民意を反映する選挙について、主体的に考察し理解する。	◎指導事項 ・地方自治 ・統治機構 ・選挙 ◎教材 教科書、資料集、プリント、ワーク 各自端末	【知識・技能】 様々な資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 【思考・判断・表現】 政治と民主主義、統治機構、政治のしくみや運用にかかわる課題について、民主政治の実現の観点から多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 政治と民主主義、統治機構、政治のしくみや運用にかかわる課題について、民主政治の実現の観点から主体的に追究している。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	E 法の働きと私たち 1) 法や規範の意義、司法のしくみと司法参加の意義について、多面的・多角的に考察し理解する。 2) 契約や消費者問題について、民法上の成年になることを踏まえ、主体的に考察し理解する。	◎指導事項 ・法の役割 ・司法のしくみと役割 ・司法参加 ・多様な契約と消費者問題 ◎教材 教科書、資料集、プリント、ワーク 各自端末	【知識・技能】 様々な資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 【思考・判断・表現】 法や規範の意義と役割、司法のしくみと司法参加の意義などについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 法や規範の意義と役割、司法のしくみと司法参加の意義などについて、主体的に追究している。	○	○	○	5
	F 経済社会で生きる私たち 1) 経済主体、市場経済のしくみ、経済循環について、多面的・多角的に考察し理解する。	◎指導事項 ・経済主体 ・市場機構 ・経済循環 ◎教材 教科書、資料集、プリント、ワーク 各自端末	【知識・技能】 様々な資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 【思考・判断・表現】 経済主体、市場経済のしくみ、経済循環などについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 経済主体、市場経済のしくみ、経済循環などについて、主体的に追究している。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
6	F 経済社会で生きる私たち 1) 国民所得と物価、金融のしくみと働き、財政の働きと課題について、多面的・多角的に考察し理解する。 2) 私たちの職業生活 6) 労働法や労働に関する諸課題について、主体的に考察し、理解する。	◎指導事項 ・国民所得と経済指標 ・物価 ・金融 ・財政 ・労働法と諸課題 ◎教材 教科書、資料集、プリント、ワーク 各自端末	【知識・技能】 様々な資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 【思考・判断・表現】 国民所得と経済成長、金融のしくみと働き、財政の働きと課題、労働に関する諸課題などについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 国民所得と経済成長、金融のしくみと働き、財政の働きと課題、労働に関する諸課題などについて、主体的に追究している。	○	○	○	8
	G 国際社会のなかで生きる私たち 1) 国際連合の役割と国際社会の諸課題について、多面的・多角的に考察し、表現する。	・指導事項 国際社会のなかで生きる私たち ・教材 教科書、資料集、ワーク、各自端末	【知識・技能】 様々な資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 【思考・判断・表現】 国際連合の役割や国際社会の諸課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 国際連合の役割や国際社会の諸課題について、主体的に追究している。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1 合計 70